

スコアシート							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
		Q 建築物の環境品質					
Q1 室内環境			0.40		-		3.6
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00		3.1
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能	界壁の壁厚を180mm以上とし、二重壁により遮音等級Dr-50を目標値に設定している。		-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20		
1.3 吸音			-		-		
2 温熱環境		2.2	0.35	4.0	1.00		3.8
2.1 室温制御		2.2	0.50	4.0	1.00		
1 室温		3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能	住宅性能表示基準 断熱等性能等級4を取得	1.0	0.38	4.0	1.00		
3 ゾーン別制御性			-		-		
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境		2.2	0.25	4.0	1.00		3.8
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50		
1 昼光率	共用部分3.8%、住居部分4.4%	5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口			-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50		
1 グレア制御	カーテン及びバルコニー底の組合せでグレアを制御している。	2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		1.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-		
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00		3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料を70%以上の面積に採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能			-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理			-		-		
1 CO ₂ の監視			-		-		
2 喫煙の制御			-		-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.5
1 機能性		3.0	0.40	4.4	1.00		4.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性			-		-		
2 高度情報通信設備対応	各住戸に1Gbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境が整備されている。		-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40		
1 広さ感・景観	住居部の天井高2.5m以上。		-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			-		-		
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理		3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30		-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 劣化対策等級における等級3を取得	5.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水SUS(C)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eを不使用	5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性		2.6	0.20		-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20		-		
3 電気設備		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり							0.50
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	2.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観法に基づく届出をしている。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		住宅性能表示制度 断熱等性能等級における等級4を取得	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=非住宅 0.88 住宅(専用部) -	4.4	0.50	-	-	4.4
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が1つある。	4.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2の排出率:68%	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		ディスプレイを採用している。	4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告照明を行っていない。	4.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-